

### 第3学年音楽科

#### 1 年間学習計画

学期	月	単元	内容	教科書・教材等
前期	4	歌唱：「花」	・日本歌曲の美しさやよさを理解して、歌唱表現を工夫する	教科書 ・中学生の音楽 2・3上 (教育芸術社)  教科書 ・中学生の器楽 (教育芸術社)  副教材 ・音楽のハーモニー 2・3上 (正進社)
	5	鑑賞：「ブルタバ」	・国民楽派と交響詩についてその特徴や背景を理解して味わう	
	6	様々なリズム表現 初級編～上級編のリズム練習	・手拍子で初級編を練習する(単純な4小節) ・中級編を練習する(休符が混ざる4小節のリズム) ・上級編を練習する(タイが混じる4小節のリズム)	
	7	音楽史	・音楽の起源から近現代までの西洋音楽史を学ぶ ・現代の暮らしと音楽の関係を理解する	
	9	器楽：アルトリコーダー① 「ふるさと」 鑑賞：組曲「勸進帳」	・曲想を考えた演奏表現を工夫し、二重奏を味わう ・日本の総合芸術のよさと工夫を感じ取る	
後期	10	器楽：和太鼓	・和太鼓の基本奏法について学ぶ ・グループごとのアンサンブルで和太鼓の響きを感じ取る	
	11	創作：動機と構成を考えたグループアンサンブル	・決められた音3音を使って、動機を考え創作する ・グループで構成を考えて動機をつなげ、アンサンブルを発表する	
	12	歌唱、器楽：「Yesterday」 アルトリコーダー②	・英語の歌唱表現を学び、曲想を工夫してアルトリコーダーの伴奏と共に、楽曲の良さを味わう	
	1	指揮について	・指揮者の役割を学び、実際に合唱の実技を行う	
	2	心に残る合唱①	・卒業を祝う会や卒業式で歌う曲について学ぶ	
	3	心に残る合唱② 1年間のまとめ	・曲想に相応しい表現の工夫を行う	

#### 2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・実技テスト ・定期考査 ・小テスト	・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート ・プリント	・発言(課題に対する態度や姿勢) ・自己評価(ワークシート) ・ワーク ・プリント
評価規準例	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
具体的な手立て	・その曲の使われている楽器・作られた理由・時代背景・歌詞の内容音楽の構造および使用されている記号など、音楽の多様性について理解する。また、普段何気なく聴く音楽にも、それぞれの特徴があることを理解し、その違いを感じとる。 ・技能では、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を習得する。歌唱、器楽、創作の分野において、練習を重ねながら演奏できる技能を身に付けること。	・音楽では歌うこと・聴くこと・感じ取ったことを形にしていくことが大切となるため、ただ演奏するのではなく、学んだことを自分で創意工夫し、イメージをもとに音楽を新たに創り出すことを目標とする。 ・自分なりの思いや意図(こうした方がより良いなどの思い)をもって、音楽のよさや美しさを感じとる。	・音楽が得意であっても苦手であっても自分で意欲的に学ぶ姿勢をもつこと。 ・内容を理解するために、毎時間の目標を自覚しながら授業に参加をすること。 ・個人練習やグループ練習、意見交換などにも積極的に取り組んで学びを深める。

#### 3 アドバイス

<p>(1) 授業中</p> <p>①話をよく聞き、指示通りに学習や実技練習を行う。</p> <p>②忘れ物をしないように前日に教科の持ち物準備を行う。</p> <p>③あきらめないで、何でもまずはやってみること。技能を身に付けるためには、反復練習も必要です。回数や目標を達成できるように、ねばり強さと集中力で頑張りましょう。</p> <p>(2) 授業以外・家庭学習など</p> <p>①日頃から音楽を聴いてみることや、テレビや映画を観るときに使われている音などに興味をもって聞く。</p> <p>②話し声や日頃から生活の中で聞こえてくる「音」もよく聴いて、あらゆる「音」が音楽に生かされていることに気付く。</p> <p>③「音楽のハーモニー」を自宅で復習するなど、その日やったことの振り返りしておくこと。</p>
---